



みなみおか

第 23 号
2021. 1. 12
発行



新年 あけまして おめでとう ございます。

～旧年中はお世話になりました。今年もよろしくお願いたします。～



始業式の朝、いつものように校門に立ってあいさつをしました。校舎の前を歩いていると、水道の水が凍っていて、「つらら」ができていました。見ましたか？今年の冬はとても寒いようです。登校してきた子ども達の中には、冷たい風が耳にあたって痛い、足が凍るぐらい冷たい・・・と言っている子もいましたが、みんなとても元気で笑顔だったので、安心しました。(実は、水道管が凍ると破裂するので、ぼたぼたと落ちる程度の水を出していたのです。だから、凍ったのです。)



南丘小学校 教職員一同

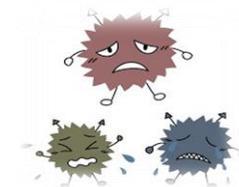
さて、今日から3学期、2021年令和3年が始まりました。短い冬休みでしたが、充実した日々を過ごせましたか？6年生は、一人一台配付されたタブレットを持ち帰り、タブレットを使った宿題をしました。冬休みの日記を、発表ノート(プレゼン)で作成するのですが、初めて一人でプレゼンを作ったとは思えない出来上がりで、6年生の先生方は驚いていました。しっかりと使いこなすことができていたようです。さすが6年生！

2021年は最高級のあいさつで朝を迎えよう！



始業式では、今年目標について次のようなお話をしました。ちょうど1年前の2020年の始業式の話 みんなに思い出してもらいました。その時に作成したプレゼンの1枚目には「2020年スタート ○○の時代へ 世の中が大きく変わる！」と書いてありました。この言葉通り、2020年は世の中が大きく変化しました。でも、○にはコロナという言葉ではなく、「5G」という言葉が入っていたのです。プレゼンの2枚目にはドラえもん漫画に出てくるグッズが今では実用化されている話を書いてあり、タケコプターの実験をしている画

像もありました。2020年は、超高速・大容量通信が可能になり、タイムラグがなく伝わり、同時に多数の通信を行うことができ、大きく世の中が変化すると全世界の人がわくわくする時代の幕開けだったのです。ところが、私たちの生活を大きく変えたのは「コロナウイルス感染拡大」だったのです。全世界で流行し、多くの人の命が奪われ、いまだに感染の拡大の終息が予測できない状況です。流行が始まったころ、日本では予防するワクチンもないし、病気を治す薬も開発されていませんでした。この感染拡大を止める方法は「STAY HOME」、一人ひとりの心がけに頼ったのです。加えて、新しい生活様式の導入ということで、「マスクの着用」「手洗い・うがいの励行」「人と人の距離をあける」など・・・一人ひとりの「心がけ」と「努力」で、第1波を乗り越えたのです。「5G」という高度な技術があっても、人の力に勝るものはないと思い知らされた1年でした。そして、「人と人とのつながり(距離はとっても、心は繋がっている)」「一人ひとりの力の偉大さ」を感じた1年でもありました。



そこで、人と人とのつながりの基本である「あいさつ」を大切にしたい！と考えたのです。人と人とのつながりの最初はいさつです。知っていても知らなくても、声をかけることができるのがあいさつです。だから、「最高級のあいさつ」のできる子に育ててほしいと思いました。



最高級のあいさつとは、①毎日、②相手に伝わるように、③自分から進んで、④笑顔で、⑤気持ちのよいあいさつができることです。朝一番に会う家族の人に、登校時に会う地域の人や友達に、そして学校に着いたら先生たちに、最高級のあいさつができるようになるとういいなあと願います。そして、南丘小学校全員で、学校を、地域を元気にできるといいなあと願います。

「最高級のあいさつで、みんなを元気にしよう！を合言葉に、1年後、南丘の町が元気になったなあ・・・という声が聞こえるよう、頑張りましょう。



2019年に公開された映画のセリフが心に残りました。南丘小の子どもたちの顔が浮かび、「大丈夫」の言葉が強く残りました。どんなことがあっても、みんな乗り越える力が今を生きる子ども達にはあると思っています。

【新海 誠原作・「天気の子」より】

世界はあっという間に変わってしまった。もう元の世界に戻る事はないかもしれない。けれど、ぼくらはこの世界に生きていく。生きていくしかない。だから、せめて食べて笑って恋をして、泣いて怒ってけんかして、それでもただ一瞬でも多く笑いあって、その瞬間をいとおしく思えたら・・・大丈夫。僕たちは僕たちの世界をきつと・・・乗り越えていける。

